

◎基本情報

事務事業名	人権文化祭開催事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	昭和	49年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終期	未定
(小項目)	人権					
施策	1	人権の尊重				
基本事業	1	人権行政の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、行政機関、学校、企業、NPO法人、社会福祉法人、団体など。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	保育所・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等に人権問題の存在とその解消に向けた取組みや人権尊重の大切さを理解し行動していただくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権文化祭来場者数</td> <td>7,300</td> <td>9,200</td> <td>9,300</td> <td>9,400</td> <td>9,500</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位	人権文化祭来場者数	7,300	9,200	9,300	9,400	9,500	人
指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位										
人権文化祭来場者数	7,300	9,200	9,300	9,400	9,500	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第40回鳴門市人権文化祭を開催しました。 ②地元NPO法人や社会福祉法人から作品展示への参加について協力を継続要請し、展示数の維持と内容充実に努めました。 ③市内小学校、市立図書館やキョーエイ鳴門駅前店4階での展示に加え、第20回人権セミナー開催時の展示および生涯学習人権課のイベント開催時にも移動展示を行いました。 ④25年徳島市で開催された全国人権・同和教育研究大会でもパネルを展示し啓発に努めました。 ⑤第40回の記念事業として小学生児童を対象に人権文化祭期間中に同和カルタ大会を行いました。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,772	2,174	2,200	2,200	2,200	件
	2	人権文化祭講演会来場者数	190	170	170	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	人権文化祭来場者数		9,011	8,943	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			97.2	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		770	627	1,002	1,002	1,002	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	438	351	607	607	607	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		332	276	395	395	395	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		7,523	7,523	7,523	7,523	7,523	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,293	8,150	8,525	8,525	8,525	千円

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	<p>①お遍路道の外国人に対する差別張り紙や部落問題に関する差別発言等、さまざまな人権問題が発生していることから、更なる人権教育・啓発が必要不可欠なため引き続き第41回人権文化祭を開催します。</p> <p>②第40回の記念事業として小学生児童を対象にした人権文化祭期間中のカルタ大会が好評だったことから引き続き、拡大して開催します。</p> <p>③地元NPO法人や社会福祉法人から展示作品への参加について協力を要請し、展示数の維持と内容充実に努めます。</p> <p>④市内小・中学校、市立図書館やキョーエイ鳴門駅前店4階での展示に加え、鳴門教育大学への展示や人権啓発に関するセミナー、フォーラム、講演会等の会場においてもパネル作品の移動展を拡大し拡充に努めます。</p> <p>⑤人権文化祭記念講演会を開催するとともに、大麻中学校生徒による人権劇の実演を上演します。</p> <p>⑥人権文化祭をより充実させるため、新たな事業を検討しています。</p>
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

1.必要性の評価		理由等所見欄
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 人権の尊重 の達成につながる事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。
	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。
2.有効性の評価		理由等所見欄
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業対象は適切である。
	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。
3.効率性の評価		理由等所見欄
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>これまでの取り組みにより人権意識・人権感覚の向上が図られ、人権教育・啓発の成果はみられるものの、人権侵害の事象は、お遍路道の外国人に対する差別張り紙、部落問題に関する差別発言などさまざまな人権問題が発生していることから、なお一層の人権教育・啓発が必要であり、今後も事業の継続が必要です。</p> <p>地域における生活上の課題の解決に向けた地域福祉の推進やさまざまな人権課題の解決が求められるなど、隣保館に期待される役割が増大していく中で、隣保館運営審議会の答申を踏まえ、同和問題を重要な柱としたさまざまな人権に係わる事業を総合的に実施していく一環として、人権文化祭のさらなる拡充が必要です。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	<p>①より一層の人権意識の普及・高揚を図ると共に、さらなる、参加者の増加を図る為、周知方法の拡充、展示作品の会場を増やすことを検討します。</p> <p>②小中学校・キョーエイ鳴門駅前店4階・図書館、人権セミナーとの同時開催だけでなく、さらに他課の研修会や講演会及びイベント・鳴門教育大学など、作品の出品及び移動展示の維持と内容充実に努め、市民や他課と協働して人権文化祭を拡充します。</p>			